

福島県内の山岳域におけるアザミウマ相の特徴を把握するため、その比較対象として長野県
の山岳域でもアザミウマ相調査を実施しています。その長野県での調査の様子が長野
県の地方紙で紹介されました。

上高地で昆虫「アザミウマ」調査 福島大院生



高地の生態解明 目指し

北ア
点猫
2013

福島大学大学院1年の志賀澄歌さん(22)が、信州大山岳
科学総合研究所(松本市)の東城幸治准教授からの依頼で、
上高地・横尾などで体長1.5センチ弱の昆虫アザミウマの調査に
加わっている。高地のアザミウマの調査はあまり進んでい
ないという、新しい種類の発見の可能性もあるという。登
山が趣味という志賀さんは、県内の山々を精力的に歩き、
昆虫がいる葉の裏などを丁寧に観察した。

新しい種類 発見期待

志賀さんは、指導を受ける「自分と向き合えるから」と
福島大理工学群共生システム 作家の深田久弥が選んだ「日
理工学類環境システムマネジ 本百名山」の山々を登ってき
メント専攻 堀忠顕教授(46) た。福島大ではアザミウマの
とでも7月下旬、上高地の 研究の場に福島県の高山地
ほか、美ヶ原高原や乗鞍岳周 帯を選んで歩いてきた。「調
辺も歩いて調査した。
志賀さんは宮城県出身。
雨の中、葉の裏を調べる志賀
さんと堀教授(左)＝上高地
横尾

れるが、約6千種のうち、り知られておらず、高山地帯
作物に被害を与えるのは60種 などの寒冷地に生息する種は
ほどという。堀教授は「害 むしろ少数派。分布してい
を与えないアザミウマはあま る種類を明らかにしたい」と
定。

堀教授によれば、アザミウ
マは農作物の害虫として知り